

## 週日の説教

金 大烈 神父 2010年6月25日(金)

《楽しんで祈り、善いことをし、自分も喜ぶ》

主の平和

昨晚、眠れなかった方が結構いらっしゃらないでしょう。(笑い、サッカーのワールドカップ日本戦があったので)3時半に起きていらっしゃった方は?(何人かの手があがり)ありがとうございます。3割の方が私と同じように応援していたわけですね。私の脳時計がちょっと変わってしまって昼夜の感覚が変になっているところです。とにかく、夕べも夜を徹して応援した実りが見えてよかったと思います。国際的な教会共同体の神父なので、もう大変ですよ。(笑い)

さあ、今日の答唱詩編を見てみましょう。『エルサレムよ、おまえを忘れるよりは、わたしの右手がなえたほうがよい。エルサレムを思わず、最上の喜びとしないなら、わたしは口がきけなくなったほうがよい。』とありますがどういう意味ですか。これには歴史的な背景があります。イスラエルが崩れて、滅びてしまい、バビロニアの捕虜にされて奴隷の生活をしましたね。その長い期間に自分達の故郷エルサレムを慕いながら書いた歌です。私達にとっては「エルサレムよ」の代わりに「主よ」と言い換えればいいのではないのでしょうか。「主よ、あなたを忘れるよりは、わたしの右手がなえたほうがよい。主を思わず、最上の喜びとしないなら、わたしは口がきけなくなったほうがよい。」このような心がいつも必要ではないかと思えます。

さあ、オリーブの会の皆様に(今日は会の定例会でした)現時点でお願いしたいことを申し上げます。まず人生を楽しんで下さい。無条件で楽しんで下さい。色々な心配ごとがあっても楽しんで下さい。楽しんで、今までさまざまな事情で出来なかったことを一生懸命なさって下さい。それでは、出来なかったことには何があるのでしょうか。それが大事なポイントです。一番優先的なこととして、“楽しんで祈って下さい。”負担に思うこと無く、重荷としないで、本当に喜んで、イエス様の前に頭を下げて話しかけるのが大好きになって下さい。嬉しい心で祈ることが、何よりも大事にしなければならぬ時期になって来ました。私はこのような雰囲気、ある程度の年齢になられた方々皆さんに、特に勧めたい生き方です。

次には“楽しく善いことをなさって下さい。”ご自分が直接的に出来なくてもいいのです。どうかやろうとする心だけでもお持ちになって頂きたいのです。

3番目には“ご自分を楽しませて下さい。”今までは子供達を育てるために、また、色々なことによって全部譲って来たことがあると思います。周りの人々を意識して出来なかったことをなさるには、勇気も必要だと思います。例えばオリーブの会には「書道と、水彩画の趣味の会」が出来ましたよね。そのようにやりたかったけれど出来なかったこと、それをなさって下さい。ご自分達が自ら「私はもう老いているから」という考え方を捨てて下さい。

ある方は歳とは関係なく、遠い色々な国に旅立つ姿を見せてくれます。オリーブの会のお一人お一人が皆そのようになって頂きたいのです。ですから、ここからはもっと今まで出来なかったことが出来る時期であること、また一番大事なこと、「私達が一番求めなければならないことに全てをかける」という心をお持ちになって下さい。多分若い人々よりそれが出来る有利な立場だと思います。

これは私が皆様に心込めて申し上げる話です。「これから今まで一番出来なかったことをイエス様と共に一生懸命やる。これからはイエス様を喜ばせる。それによって、私が誰にでも喜ばれるように毎日毎日一つずつやって行きます。」この心で日々過ごしましょう。お分かりですか。

もう一度一緒に言ってみましょう。初めは“楽しみながら祈る”、2番目は“楽しみながら善いことをする”、3番目は“楽しみながら自分をも喜ばせる”この三つのことを考えて下さい。私自身、皆様の力になれるよう全力を尽くしますので、ご心配なく、遠慮しないで何でもお話下さい。

ありがとうございました。